



地域に暮らす人々と共に心あたたかな医療をすすめたい

特集

八鹿病院のリハビリテーション

- ▶ 新年のご挨拶
- ▶ チーム八鹿病院 老人保健施設
- ▶ 教えて！健康コラム 誤嚥性肺炎
- ▶ 看護部だより 救急看護の学びを深めたい
- ▶ トピックス 村岡病院石田院長 兵庫県功労者表彰を受賞 他
- ▶ インフォメーション 感染対策実施しています 他

謹賀新年

2021

1

月号



公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



中央リハビリテーション科「脳卒中カンファレンス」

セラピストが脳神経外科医師より画像の読影力を学び、患者さんのリスク評価や予後予測の評価に繋がります

八鹿病院の リハビリテーション

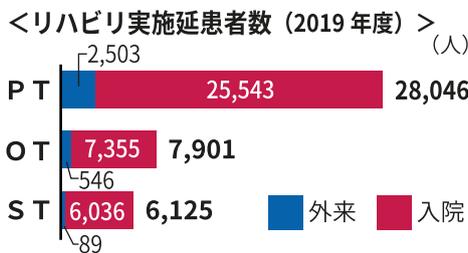


中央リハビリテーション科スタッフ

当院では、急性期から亜急性期、維持期、慢性期と幅広い病状や疾患に対応したリハビリテーション（以下、リハビリ）を医師の指示のもと、外来や入院でおこなっています。

<職員数>

	理学療法士 PT	作業療法士 OT	言語聴覚士 ST
八鹿病院	33	12	5
（中央リハ科）	12	4	3
（回復期リハ病棟）	11	8	2
老人保健施設	3	5	0
南但訪問看護センター	8	3	0
村岡病院	3	0	0



3つの職種が専門性を活かす

当院では、リハビリ専門職種のことを総称で「セラピスト」と表現しており、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）の3職種からなるリハビリの専門職集団になります。3職種のセラピストが専門性を活かし、患者さんの症状に合わせて、役割を分担しながらリハビリをおこなっています。

脳卒中の患者さんを例としたセラピストの役割分担



脳梗塞を発症した Aさん
右半身麻痺・高次機能障害・失語症・嚥下障害など
脳卒中の代表的な障害が残りました

医師の指示のもと、入院翌日からリハビリを開始します！

※リハビリ目的で転院してこられた場合は、転院当日からリハビリを開始します

運動麻痺の改善

思い通りに動かせなくなった手足が動くようになるための練習



理学療法士 / 作業療法士

基本動作面の改善

起き上がりや起立・歩行といった基本動作の練習



理学療法士 / 作業療法士

補装具の選定

移動のための杖や車椅子の選定、歩くための装具の検討



理学療法士

日常生活動作の練習

着替えやトイレ、調理など日常生活の自立を目指した練習



作業療法士

高次機能障害の改善

生活の中で注意が散漫になるなどの症状を改善するリハビリ



作業療法士

言語障害の改善

上手に喋れない、自分の意思を伝えにくいなどの症状に対するリハビリ



言語聴覚士

嚥下障害

ご飯が飲み込めないなどの症状に対するリハビリや食べやすい食事形態の提案



言語聴覚士

残された機能を最大限に引き出して 安心して元の生活へ

「リハビリテーション」とは、単なる機能回復することではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要と言う意味が込められています。今回は、病棟や外来でのリハビリテーションをおこなう、中央リハビリテーション科についてご紹介します。

八鹿病院のリハビリ『4つの特徴』



言語聴覚士

特徴
1

幅広い疾患や障害など、 地域に必要なリハビリに対応できる

当地域では、心不全や誤嚥性肺炎といった疾患で入院される方も多く、特に高齢者の疾病では体力が著しく低下し、元の生活に戻ることが難しくなる場合があります。当院では、廃用症候群（活動性の低下からくる筋力低下など）を少しでも予防し、元の生活に戻れるよう、お手伝いをさせていただきます。また手術後や脳卒中、急性期の患者さんなどには、回復状態を少しでも高めるため、状態に応じて365日リハビリをおこなっています。

特徴
2

病棟ごとの特色に合わせた リハビリができる



作業療法士

障害者病棟、療養介護 病棟、結核病棟（8病棟）

神経難病により人工呼吸器を装着された患者さんや結核患者さんの機能維持・改善を図り、生きがいを持って療養できるお手伝いをさせていただきます。



理学療法士

回復期リハビリ病棟 （10病棟）

病棟専属セラピスト（21名）が在宅復帰を目標に脳卒中や骨折などの術後患者さんにリハビリを集中的におこないます。



理学療法士

地域包括ケア病棟（6病棟）

治療後、病状が安定した患者さんが退院するための、あと一步を応援します。在宅や介護施設への復帰支援がおこなえるよう、急性期病棟からのリハビリを継続します。



理学療法士

療養病棟（9病棟）

退院されるまでの調整や自宅退院が困難な施設待機の方に対し、機能維持を図り、自宅や施設での生活が継続できるようにリハビリをおこないます。



理学療法士

緩和ケア病棟（11病棟）

歩行練習などの機能訓練のほか、安全で安楽な離床方法などを提案し、ご家族と共に入院生活に生きがいを提供できるリハビリを目指しています。

特徴
3

外来リハビリで退院後の 生活改善や職業復帰を目指す



理学療法士

外来通院中の患者さんに対し、退院後の日常生活動作の改善、職業復帰に向けたリハビリをおこないます。生活習慣病や怪我、病気によって外来通院される方が多いですが、後遺障害や神経難病、小児疾患等に対する機能維持・改善のためのリハビリもおこなっています。

特徴
4

将来、但馬で活躍できる セラピストを育成



学生

関西を中心とした養成校より但馬出身の学生を受け入れています。リハビリをおこなった患者さんがどのように退院されるのかなど、教科書だけでは経験できない学びの場を提供することで、将来、但馬の医療・福祉を担うセラピストの育成に力を入れています。臨床に強いセラピストがいるからこそ、身になる実習・指導が出来るのが当リハビリ科の特徴です。



その他に、特別支援学校など院外施設でのリハビリやアドバイス、また国立障害者リハビリテーションセンター研究所と一緒に神経難病の患者さんを対象とした意思伝達装置の開発協力もおこなっています

全てのリハビリは、医師の指示により実施されます。ただし、リハビリは、医療法に基づいて処方される為、ご要望に対応できない場合もあります。外来通院等でリハビリを希望される際は、かかりつけの医師にご相談ください。

新年のご挨拶



公立八鹿病院組合
管理者 富 勝治

令和2年1月の新聞見出し

- 中国武漢市で新型コロナウイルス感染症発生
- 帰国者用臨時チャーター便手配
- 1月末世界全体で8000人の感染者確認

1 感染症と歴史

100年前のスペイン風邪（当時の新型インフルエンザ）の収束等を経て、「感染症完全制圧近し」と世界中が信じた。WHOは1980年に、天然痘根絶を宣言、日本では翌年にポリオ国内発生ゼロとなり、対感染症の勝利が現実味を帯びました。しかしその後は、エイズやインフルエンザ流行が続ぎ、SARS/MARS（共にコロナウイルスに依る重症呼吸器感染症）等に襲われました。以前、「亡国病」と言われた結核が下火になったのも束の間、改めて台頭し再興感染症に位置づけられています。

2 コロナ制圧のキーワードは免疫

免疫とは、ウイルス等を侵入異物として認識し、処理しやすくする物質

（抗体）を作る能力の記憶システムです。現在検討中の新型コロナウイルスワクチンの一つ「mRNAワクチン」とは、先ずウイルスの一部（発病性なし）を作ることが出来る遺伝子（mRNA）を注射して、体内細胞に疑似コロナタンパク質を作らせて免疫系を発動させます。この記憶が、その後の侵入ウイルスを無毒化するための抗体を迅速につけてくれます。なお、このmRNAを保存するためには、超低温状態が必要です。

3 コロナ感染と公立八鹿病院組合

医療崩壊が叫ばれる昨今、多くは病院事情に対する問題です。一方で昨春以来、介護・福祉施設でのクラスター発生も報道されてきました。当組合組織にも、老健施設や訪問看護センターがあり、その利用者は但馬全域に及んでいます。老健利用者は、構成市町（養父市・香美町）57%、豊岡・朝来市民40%です。全て、重症化リスク因子とされる高齢、基礎疾患保有者に該当し、一人の発症は直ちにクラスター発生を意味します。対応は、行政・所管保健所との連携を図り、検査・療養は八鹿病院が担うこととなるでしょう。

ご家族・職員の心配を思うと、全てが杞憂に終わることを祈るばかりです。



明けましておめでとうございませう。皆様お揃いで良い新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症で世界中が振り回された1年でしたが、公立八鹿病院を振り返りますと、大きな事業が2つありました。第1は病棟の移転で、12月をもって療養病棟が10階から9階へ、そして回復期リハビリテーション病棟が東館2階から10階へ移転しました。これにより、回復期リハビリ病棟の患者さんに快適な療養生活を送っていただけるようになりました。第2は、新しい電子カルテシステムの導入で、各部署での調整やリハールを重ね、本年1月1日から新規稼働を開始しました。これにより診療業務の安全性・迅速性・効率性が向上すると期待されます。

医師確保につきましては、昨年



公立八鹿病院
院長 後藤 葉一

は当病院組合修学支援制度による若手医師と兵庫県派遣養成医師が増加して、院内に活気が増しました。医療機器として、最新鋭の血管撮影装置や睡眠時無呼吸検査装置を導入しました。また経営企画室・病床管理委員会・人材育成委員会などを立ち上げ、病院運営の最適化や人材育成などの体制を強化しました。さらに新型コロナウイルス対策として、院内対策本部を立ち上げ、感染予防対策や診療体制整備に努めました。

お陰様で公立八鹿病院は、住民の皆様の命と健康を守るために、昨年も無事乗り切ることができました。これはひとえに住民の皆様をはじめ自治体・医師会など関係各方面の温かいご支援のたまものであり、ここに深く感謝申し上げます。今年の八鹿病院は、引き続き地域の皆様に愛され信頼される病院をめざして、職員一同、質の高い医療を提供するために奮闘いたします。

新しい年の初めにあたり、今年こそは新型コロナウイルスの騒動が終息することを願うとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年もどうぞよろしく願います。



チーム八鹿病院

老人保健施設

ご利用ください！
「通所リハビリテーション
(デイケア)」

通所リハビリテーション (デイケア)とは？

通所リハビリテーション（以下、通所リハビリ）とは、高齢者などリハビリを必要とする方が自立した生活を送れるように、ご自宅から施設に通ってリハビリをおこなう介護保険サービスのひとつです。

通所リハビリは、理学療法士や作業療法士によるリハビリで筋力・体力アップを目指しながら、心身の機能の維持や生活リズムを整えたり、介護者の負担軽減などにも役立てることができます。

また、リハビリの他に入浴や昼食などの日常生活上の支援を受けることができます。

ご希望の時間で利用可能

利用時間は、6〜7時間程度の利用が基本となります。ご希望に合わせて短時間の利用もできますので、ご相談ください。

ある日の通所リハビリ1日のながれ（6〜7時間の場合）



個別リハビリで 筋力アップを目指す



利用者様ごとに計画したリハビリで筋力アップを目指します。6種類の専用マシンを使用したパワーリハビリは、軽い負担の有酸素運動で効果的！



個別選択リハビリ



計算、塗り絵、歌などで充実した時間を過ごします。

昼食



お食事は、管理栄養士が栄養バランスを考えています。

カツとじ丼
れんこんの利休煮
ブロッコリーサラダ、洋梨



集団リハビリ



手足のストレッチや歩行訓練で、からだをほぐします。



楽しく レクリエーション！

感染に注意しながらゲームやボウリングなどみんなで楽しめます。笑い声でいっぱい楽しい時間を過ごします！

通所リハビリ利用までの手順

①申込み

ケアマネジャーに相談し、通所リハビリの申込みをしてください。

②面談・契約

老人保健施設の支援相談員が、ご本人やご家族と面談し、健康状態や利用時間などを確認します。

③利用開始

状態に合わせたリハビリ計画を立て、通所リハビリの利用が始まります。

【お問い合わせ】

公立八鹿病院老人保健施設

電話 079-662-2355

介護職員募集中！

※職員募集の詳細は八鹿病院ホームページをご確認ください

教えて！
健康
コラム

誤嚥性肺炎

総合診療科 黒田 達実

誤嚥性肺炎とは どのような病気なのでしょうか

肺炎とは、細菌などの病原体が肺に起こす病気です。発熱や咳・痰が一般的な症状で、風邪を引いた後などにかかることがあります。誤嚥性肺炎も肺炎の一種です。

物を飲み込む働きを「嚥下（えんげ）機能」、口から食道へ入るべき物が気管に入ってしまうことを「誤嚥（ごえん）」と言います。誤嚥性肺炎は、この嚥下機能が悪くなって、唾液や食べ物などと一緒に細菌が気管から肺に入ってしまうことです。特に肺炎をくり返す方は、普通の肺炎ではなく誤嚥性肺炎にかかっているかもしれません。誤嚥が続いていれば、繰り返し誤嚥性肺炎が起ります。

日常生活で少し注意して 誤嚥性肺炎を予防しましょう

さまざまな原因（病気）で、物を飲み

込む働き（嚥下機能）が悪くなりますが、代表的な病気の一つが脳卒中です。脳卒中の一番の原因は高血圧なので、脳卒中の予防のために血圧への注意は重要です。

誤嚥が起こっても、細菌が肺に入らなければ肺炎に至らないこともあります。普段から口の中を清潔にする（まめに歯磨きをするなど）ことは重要です。眠っている間に口の中で細菌が繁殖し、無意識のうちに唾液と細菌が気管に流れ込むことがありますので、寝る前と起きた時のうがい、または歯磨きも効果的だと言われています。

また、いったん胃に入った食べ物や胃液が喉のあたりまで逆流して気管に入る可能性があります。食後すぐに横にならずに座っていること、頭を起こしておくことでこの逆流を防ぐことができます。



救急看護の学びを深めたい

総合診療科 看護師 藤原 真衣

新人看護師として総合診療科に勤務し、約半年が経ちました。総合診療科では、急に出現した腹痛や息苦しき、転倒や事故による打撲などの外傷や骨折など、さまざまな患者さんが受診されています。私たち看護師は、受診された患者さんやご家族から、症状や出現時期などを詳しい情報をお聞きした上で、急いで医師の診察が必要であるかどうかを判断します。そして、痛みがある患者さんには楽な体勢を一緒に考え、熱がある患者さんには氷枕や布団で保温するなど、状況に合わせて苦痛が軽減されるようにと考えながら対応しています。

患者さんの中には、急激に状態が変化してしまう方もおられるため、不安になることもあります。しかし、先輩看護師のサポートを受け、重症患者さんのケアができるようがんばっています。

今後の目標としては、救急看護について学びを深め、患者さんとご家族を支えたいと思います。

看護部だより

受賞!

公立村岡病院 石田長次院長
兵庫県功労者表彰（健康功労）を受賞



公立村岡病院の石田長次院長が、令和2年度兵庫県功労者表彰（健康功労）を受賞しました。この賞は、さまざまな分野（23部門）のなかで功労のあった方や県民の模範となった方に対して特に功績顕著な方を県知事が表彰するものです。石田院長は、平成9年から長きにわたり公立村岡病院の院長として、高齢化率の高い地域だからこそ必要な医療の充実に努めてきました。訪問診療・訪問看護など在宅での医療にいち早く取り組み、患者さんの気持ちに寄り添った地域医療の充実に力を注ぎました。

受賞!

公立八鹿病院 倉橋卓男医師
兵庫県救急業務等功労者知事表彰を受賞



公立八鹿病院の倉橋卓男医師が、令和2年度兵庫県救急業務等功労者知事表彰を受賞しました。この賞は、救急業務等関係者の意識の高揚を図り、救急業務等の充実に寄与することを目的に、救急医療に特に貢献した方を県知事が表彰するものです。倉橋医師は、当院において9年以上にわたり、救急診療に携わるとともに、研修医や後進医師への指導・育成に努めてきました。また地域の防災訓練へ参加したり、災害救急へ出動したりするなど救急業務への貢献が評価されました。

NEW

血管撮影装置（アンギオ装置）が
新しくなりました



胸部・腹部・心臓等の血管に細い管（カテーテル）を挿入し、動脈硬化や腫瘍の検査・治療をおこなう血管撮影装置が新しくなりました。新しい装置は、患者さんをあらゆる方向、角度から撮影できます。CTのような断層像、立体像を作成することもできます。これらの情報をもとに精度の高い治療が可能となります。さらに少ない線量での撮影が可能で、被ばく線量を低減できます。

NEW

睡眠時無呼吸の検査装置が
新しくなりました



新しい検査装置

睡眠時無呼吸症候群の診断や重症度の判定をおこなうための検査装置が新しくなりました。従来の装置と比べ、装着時間の短縮やコンパクトになり、また無線により診断データをやり取りすることで、検査中の体の動きの制限が緩和されました。新しい装置では、ベッドからの移動やトイレに行く場合にも装置を付けたまま自由に行動でき、患者さんにとっては検査が受けやすくなりました。

病院ボランティア募集中

地域と病院をつなぐやりがいのあるボランティア活動に参加しませんか？

週1回、短時間でもOKです！
お気軽にご相談ください！

【お問い合わせ・申込み】
看護部長室



12月「木賊」



12月「ホワイトクリスマス」

いつもありがとう！
ボランティアさん
～作品の紹介～

当院では、お花や絵など地域の方々の作品を展示しています。お越しの際は、是非ご覧ください。

診療予約の受付時間にご協力ください



●●科の
予約を取りたい
のだけど…



予約受付時間：平日 午後 2 時～午後 4 時

予約受付時間以外のお電話は、外来診療や処置などに支障をきたし、スムーズな診療がおこなえない場合があります。診療科の予約は、受付時間内にお電話またはご来院のうえお申込みください。皆さまにはご理解とご協力をお願いいたします。
※当日予約の変更・キャンセルにつきましてはこの限りではありません

感染対策を実施しています ～ご協力をお願いします～

令和 3 年 1 月 15 日から、当面の間、入院患者さんへの面会を原則禁止としております。

(ご家庭に配布された八鹿病院ニュースは、対応変更前のお知らせとなっています)

詳しくは、当院ホームページにてご確認ください。

●西玄関の入館時間を制限中です

【西玄関ご利用時間】平日 8 時 30 分～ 11 時 00 分

※上記時間以外は、院内から出るときのみご利用いただけます。ご来院の際は東玄関をご利用ください。

●終日、非接触型の体温計で測定しています

●必ずマスク着用でご来館ください

●「発熱外来」(予約制)を
開始しました

NEW



発熱など症状のある方で、八鹿病院がかかりつけ医の方または、かかりつけ医や発熱等受診・相談センターから当院の受診を勧められた方に、屋外で発熱外来を開始しました。

【診療時間】平日 12 時 30 分～ 14 時 30 分

※ご予約をおとりください

※令和 2 年 12 月 24 日現在の情報です。

状況により変更となる場合もありますので、詳しくは当院ホームページをご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

発熱などの症状があるとき、まずは「かかりつけ医」へ電話相談してください

かかりつけ医や身近な医療機関がある

➡ 「かかりつけ医」へ電話相談

※八鹿病院が「かかりつけ医」の場合は当院へ電話相談してください

※医療機関受診後に八鹿病院への受診が必要と判断された場合は、紹介状が必要です



・かかりつけ医がない ・相談先に迷うとき

➡ 「発熱等受診・相談センター」へ電話相談

【平日 9 時 00 分～ 17 時 30 分】

[養父市・朝来市] 朝来健康福祉事務所 079-672-0555

[香美町・豊岡市・新温泉町] 豊岡健康福祉事務所 0796-26-3660

【平日夜間 (17 時 30 分～ 9 時 00 分) ・土日祝日】

新型コロナ健康相談コールセンター 078-362-9980

医師異動のお知らせ (令和 3 年 1 月)

【新任医師】

よろしく申し上げます

1 月 1 日付 【透析センター】 大家 角義

1 月 15 日付 【産婦人科】 海野 隆彦

1 月 16 日付 【外科】 吉永 駿

【退任医師】

お世話になりました

1 月 15 日付 【外科】 松尾 二郎



[編集・発行]

公立八鹿病院 (担当) 総務課

〒 667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1

電話 079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

お知らせ

みんなで感染予防しよう！マスク・手洗い・手指消毒、密を避ける。



公式 Facebook 情報発信中！

公立八鹿病院

いいね！
お願いします！